



# はつらつニュース 第138号

## 「無視できない」虫たち

夏場に休日当番医が当たると、虫に刺された人が、たくさん飛び込んできます。



ダニ

当院近くのD51公園には、草むらに「ダニ注意」の看板が立てられています。マダニは草むらや木の上に潜んでおり、人や動物の吐く二酸化炭素に引き寄せられます。皮膚に付着すると鋭いクチバシを刺し込み、セメント様の唾液を注入し、しっかりとくっつきます。そして血液を吸って丸々と太り、小豆大になります。

気付いて慌てて取り払おうとすると、クチバシが皮膚に残り、その部分が化膿することがあるので、早目に医療機関を受診して下さい。当院にも「ティック、ツイスター」という専用のダニ取り器具を備えてあり、それで綺麗に取り外すことが出来ます。

ダニを無事に摘出できても安心はできません。二週間は経過観察が必要です。ダニの唾液に含まれているウイルスが、人体内に侵入増殖して、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に罹る危険があります。

発熱、嘔吐、腹痛、下痢などの症状が出て、出血傾向、多臓器不全となり死亡することがあります。同様にダニが媒介する日本紅斑熱と共に、広島県は全国一の発生数です。



ハチ

小学校の遠足で鳴滝山に登りました。或る民家の軒下に大きなスズメバチの巣がありました。誰かがそれに向かって石を投げた途端、スズメバチが飛び出して来ました。皆一目散に逃げ帰り、幸い刺された人はいませんでした。

スズメバチは我が国に広く分布する大型の蜂です。普段は人を襲うことはありませんが、危害を受けると集団でかかってきます。刺されるとアナフィラキシーショックを起こして、死に至ることがあります。特に以前刺されたことがある人は、抗体を持っており重症化する危険があります。

アナフィラキシーショックの症状は、体の痒み、吐き気に始まり、動悸、息切れ、手足のしびれが出て、血圧が低下、意識がもうろうとしてきます。治療は出来るだけ早く医療機関に行き、迅速な治療を開始することです。山の中で仕事を営む営林署の職員達は、誤って蜂に刺される機会が多く、エピペンという注射器を携帯しています。スズメバチに刺されたら、直ちに自分で太ももにエピペンを注射します。そして助けを呼んで、医療機関への搬送を依頼します。エピペン



カ

の適切な使用が命を左右することがあります。

子供の頃、向島や因島の山の斜面は、除虫菊畑があり、五月頃は一面に白い絨毯を敷きつめた様でした。

除虫菊から作った蚊取線香は、尾道が発祥で、昔はこの家にも置いてありました。そう言えば、蚊取り線香、蚊帳、ハエ取りリボン等、見かけなくなりました。

以前恐れられていた蚊の媒介する日本脳炎は、ワクチンのお陰で激減しました。しかし2014年東京の代々木公園でデング熱の集団発生が起こりました。

デング熱は元々熱帯の病気ですが、熱帯地方でデング熱に罹った人が日本に入国し、その人の血を吸ったネグタイシマカや、ヒトスジシマカを介して人に伝染します。地球温暖化や都市の暖房の影響で、一年中これらの蚊は日本に生息しています。

感染しても多くは、発熱、頭痛、関節痛、悪心、嘔吐などの症状で一週間前後で後遺症なく回復します。しかし乳幼児、妊

婦、高齢者、糖尿病、腎不全など持っている人は、重症化する可能性がります。血小板が減少し出血が止まらず、胸・腹水が溜まり、ショックに陥ることがあります。

ところで蚊の媒介する病気で最も多いのがマラリアです。2000年以上前から知られていますが、現在でも年間、世界で2億人が罹り、40万人以上が死亡しています。

マラリアは、ハマダラカという蚊が、マラリア原虫を人に刺入して、原虫が人の赤血球に入り込み増殖します。発熱や貧血、出血傾向などが出現し、死亡することがあります。私の三男も以前アフリカのケニアでボランティア活動をしていた時に罹ったそうです。突然激しい悪寒と共に40℃近くの発熱がありました。幸い特効薬のお陰で軽症で回復しました。

このマラリアの特効薬は、アルテメシニンと言い、最近この薬の発明に対し、中国の女性研究者がノーベル生理学・医学賞を受賞しました。彼女は中国の2000年前の文献に載っていた青蒿というヨモギの一種に着目しました。そして研究を重ねた結果、青蒿からアルテメシニンを抽出することに成功しました。

アルテメシニンは古代ギリシャ神話の女神アルテミスに由来しています。アルテミスはヨモギを用いた医療に長けていたので、ヨモギにはアルテメシアの学名がつけられています。古今東西、温故知新、面目躍如ですね。

## ごえん 誤嚥性肺炎に御注意を！

皆さんは誤嚥とか誤嚥性肺炎といった言葉を聞いたことがありますか？介護や医療の世界ではよく聞く言葉なのですが誤嚥とは食べ物や飲み物・唾などを食道ではなく肺につながっている気管へ入れてしまうことを言い、食べ物や唾などと一緒の流れ込んだ細菌が肺の中で繁殖して起こる炎症を誤嚥性肺炎と言います。

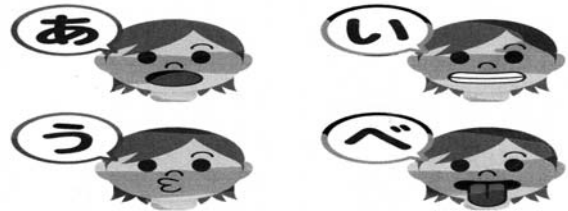
高齢化社会となった現在では肺炎はガン、心疾患に次いで第3位の死亡原因となっており大変怖いものです。ある資料によると高齢者の方の肺炎の7～8割程度は誤嚥性肺炎によるものだと記載されており、高齢になるほど誤嚥による肺炎の割合が高くなっているようです。

どうしてそうなるのかといえば、年を取ることににより口の周りや首の筋力が弱くなり飲み込みが難しくなったり、歯が欠けたり入れ歯が合わないなどにより物を噛むことが難しくなってしまう十分に咀嚼をしないまま飲み込むことや、姿勢が悪くなり前かがみで食事をしてしまうために胃に入った食べ物が逆流して気管から肺に入ること、脳梗塞などの病気により飲み込みが難しくなるなどの原因により誤嚥を起こしてしまうようです。

誤嚥をした時の主な体の反応は嘔ることですが老化や病気によりこの反応が鈍くなり咽ていなくても誤嚥をしているこ

とがあります。注意する症状としては口が渇く、よく咳が出る、声がかれる、口の中によく食べ物が残っている、よだれが出る、自分の唾でも咽てしまう人などは誤嚥の可能性が高く要注意の方です。誤嚥を防ぐためには唇や舌のリハビリや口腔の体操、口のマッサージ、薬の処方、最終的には手術など色々な方法があるのですが田辺のデイではその中の口腔体操をお昼ご飯の前に皆さんに行っていて頂いています。

体操と言っても“あ・い・う・べー”と呪文のような言葉を数回唱えるだけなのですが、田辺では食事前にこの体操を行うようになってから食事中に食べ物を詰まらせてしまう人が激減しており効果のほどは保証付きです。簡単で時間も取らない体操なので上記の症状に心当たりの方や不安のある方は実行されてみてはいかがでしょうか？



- 『あ～い～う～べ～』と口を大きく使って動かします。
- 出来るだけ大きめにやることを意識しましょう。
- 声は小さくてもかまいません、口を大きく動かしましょう。
- 食事前に数回ずつ、一日で30回程度やってみてください。

(曾根 正登)

## ★東洋医学入門

～その108～

鍼灸師 村田 雅文

今回も経穴のお話です。 足の太陽膀胱経

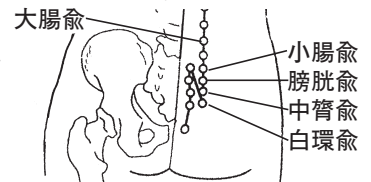
**大腸俞**……この経穴は大腸の疾患を治す効果が高いため、大腸俞と名付けられました。大腸疾患の他にも腰痛や坐骨神経痛などの腰下肢疾患や便秘・下痢などの内臓疾患、そのほかには皮膚疾患に対しても効果があります。皮膚病に大腸俞を使うのは、東洋医学では肺と大腸は表裏関係にあり、これらは皮膚を主とされているからです。

**小腸俞**……この経穴は小腸の経気が背部に巡り注ぐところと考えられており、小腸の疾患を治すために使われていた事から小腸俞と名付けられました。そのほか、慢性の関節リウマチなどでもこの部位に反応が現れることが在り、リウマチの治療穴として使用されます。

**膀胱俞**……この経穴は膀胱の経気が背部に巡り注ぐところと考えられており、また膀胱疾患を治すためによく使われていた経血なので膀胱俞と名付けられました。膀胱俞穴は膀胱疾患である頻尿、尿漏れなどの泌尿器の病気の他にも生殖器疾患（婦人科疾患）などにもよく効き、また体の冷えなどに対してもよく使用されます。

**中膂俞**……「膂」という字は背骨の両側の盛り上がった筋肉を指します。隆起した筋肉の真中にある経穴ということで中膂俞と名付けられたと言われています。治療には生殖器疾患や泌尿器疾患などに対して用いることが多いです。

**白環俞**……「環」にはめぐる、まわるの意味があります。膀胱経の流れが上から下に流れてこの白環俞穴で上に上がり上膠と連なっていることを指しています。ほかにも、「環」には玉などの貴重品、「白」には婦人の帯下や男性の精液をさし、男性器や婦人科の疾患を治す事からこの名が付いたと言われています。生殖器疾患や泌尿器疾患に対して用いています。



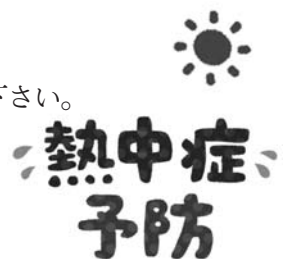
## お知らせ

- 🕒 8月11日(日)は当番医のため診療を行います。午前9時から午後5時までです。
- 🕒 お盆休みは8月14日(水)、15日(木)です。お薬切れに御注意下さい。
- 🌍 地球温暖化のため、今年も猛暑が予想されます。熱中症対策に水分補給を行って下さい。また豪雨災害も度々発生しています。天気予報やニュースに注意を払って下さい。

緊急連絡先 (院長の携帯番号) 090-4148-0665

🌐 田辺クリニックのホームページ

<http://www.tanabecl.sakura.ne.jp/>  
はつらつニュースのバックナンバーが入っています。



医療法人社団 木水会

田辺クリニック

田辺 泰登

〒722-0002 広島県尾道市古浜町6-20 TEL (0848) 24-1155(代) FAX (0848) 24-1156